

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

心の通い合う連携を

彦根市立病院 看護副部長
地域連携センター副参事
地域医療連携室室長
北川 智美

暑中お見舞い申し上げます。

本年より地域医療連携室室長を拝命いたしました。北川智美です。

彦根市立病院における地域連携の役割を根底から見直し、地域医療のありかたを構築していきたいと考えております。

5月より再開いたしました開放型病床も多くの先生方からご利用いただき、ご紹介先生や患者様の入院に対するニーズにもお応えさせていただいております。

今後の地域医療連携のために、ご診療終了時間にご訪問を致しております。先生方からのご意見等は、できる限り改善策を構築し、取り組んでおります。

ご訪問の際には、ご意見ご指導など何でもいただきたくお願い申し上げます。

まだまだ暑い日が続きます、先生方職員の皆様ご自愛くださいませ。



先月お知らせさせていただきました乳腺外来には、その後地域連携でたくさんのご紹介を頂いております。芸能界でも乳がんのニュースが取り上げられ、不安に思う患者様も多くおられるようです。ご紹介いただきますと現在予約は、希望の日に可能です。



診療を受けていただいた方からのお声

テレビのニュースで自分も他人事ではないと胸を触ってみたら硬い部分がありました。子どもが学校に行っている時間で検査から診断までしていただき、異常なしと言っていたき安心しました。



30歳代女性

しこりについて医師から説明のあと乳がんの専門の看護師さんがお話を聞いて下さいました。今後も彦根市立病院で通院治療をしていきます。お世話になりますがよろしくお願ひ致します。



40歳代女性

心配で血圧を見てもらっている先生に話してみました。早くに診てもらえて、これでまた安心して暮らせます。



70歳代女性

8月から彦根市立病院の形成外科で乳房の再建手術が始まります。この地域に必要な医療が皆様に提供できますよう職員一同で取り組んでいます。

女性の安心につながる乳腺外来



末梢動脈疾患を

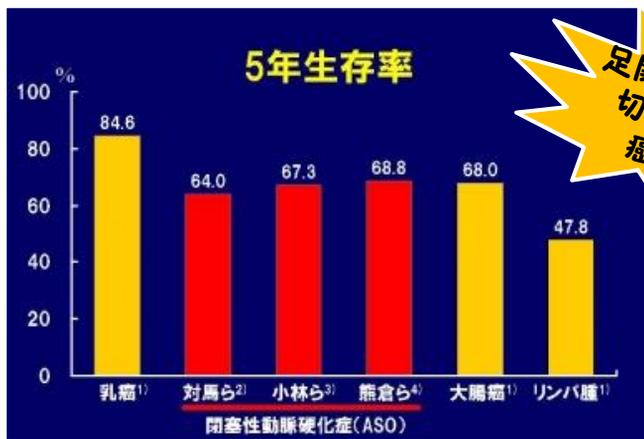
診療しています



彦根市立病院 循環器科部長
宮澤 豪

◆末梢動脈疾患 (PAD) について

皆さんは末梢動脈疾患をご存じでしょうか？心臓と頭蓋内動脈以外をすべて末梢動脈と呼びますが、末梢動脈が動脈硬化により細くなることで様々な症状を引き起こす病気のことを末梢動脈疾患と呼びます。特に下肢末梢動脈疾患が最も多く、全国で700万人いるとされていますが、実際に診断されているかたは100人に一人程度で、ほとんどのかたが放置された状態です。この病気は放置していると癌より予後が悪いことが知られています。そのために早期発見をすることが極めて重要な疾患なのです。



足関節より上部の切断の予後は癌より悪い



◆PADの診断

血圧脈波検査という両手足の血圧を測定する5分程度の簡単な検査を行います。また場合によりエコー・CT・MRIなどを組み合わせることで診断を行います。また重症のPADになると、潰瘍や壊疽になることがあります。その場合には皮膚還流圧検査 (SPP) が有効で、当院で当日実施し結果が得られます。

ABI装置

ABIは、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標です。上腕と足首の血圧から算出されます。ABIは非侵襲的な検査で数値として評価できるので、PAD患者の早期発見に有用です。PAD (末梢動脈疾患) は、心血管疾患や脳血管疾患など他臓器障害との合併が多く見られることから、早期発見が重要です。

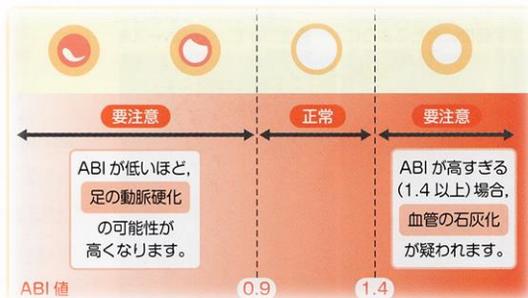
上腕血圧: 左右差がある場合は高い方

足関節血圧: 足背動脈と後脛骨動脈の高い方

カフ幅は12~13cm

0.9以下は血流障害を疑う

1.4以上は血管の石灰化を疑う



皮膚還流圧 (SPP) 検査

末梢の微小循環を評価する指標でありSPP低値例では創傷治癒が得られないことが知られています。



レーザーセンサ先端部が測定部位に当たるように設置しテープで固定する

カフをゆるみのないように巻きつけて、エアホースを接続する

◆PADの臨床分類と当院での治療について

無症候性PAD

症状がないPAD患者さんは放置されていることが圧倒的に多いです。しかし全身の動脈硬化の進行により予後が不良であることが知られているので、動脈硬化危険因子の評価と是正、および冠動脈疾患や脳血管疾患の有無についての検査を行います。

果によっては糖尿病外来・脳血管外科などと連携して診療をさせていただきます。

間欠性跛行を有するPAD

間欠性跛行を有するPAD患者さんの場合は、運動療法・薬物治療・カテーテル治療などについての方針を決めます。

カテーテル治療は3日間の入院にて行っております。

重症下肢虚血

PADで潰瘍や壊疽を伴う場合を重症下肢虚血と呼びます。放置すると下肢切断もしくは死に至る恐ろしい状態です。

当院ではこのような患者さんが来院された場合、形成外科・循環器科・皮膚排泄ケア(WOC)認定看護師が連携して、救命・救肢を第1の目標として診療しております。



当院での下肢動脈カテーテル治療。当院では、2016年1月～2017年5月の18ヶ月間で、143件のPADに対するカテーテル治療を施行

循環器医師、形成外科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師などで治療・ケア方針を協議

◆疑わしい症例があれば、ぜひご紹介をお願いいたします

- 彦根市立病院では、診療科の垣根を越えたPADチーム医療体制をとっております。
- 当院 循環器科にご紹介をいただければ、適宜関係部署と連携をとりながら、診断治療を進めさせていただきます。

